

ふるさと教育 取組事例

学校名	安来市立荒島小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合的な学習	わたしたちの久白川	荒島活性化推進協議会の方々・久白川・中海
ねらい		地域の川、中海を題材に、これらに関わっている地域の方々と関わることで、問題意識をもち、課題を解決し、発信していく過程を通して自分にできることを考えることができる。	

1 取組の概要

わたしたちのふるさとにある「久白川」「中海」の現在と昔を水質調査や中海クルージングをしながら比較し、未来に向かって自分のできることを考え、実践しようとする意欲を育てるための取組。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

「久白川」「中海」をよく知る荒島活性化推進協議会の方々や水質調査をしたり、中海クルージングをしたりすることで、ふるさとをよく知っている方のふるさとへの愛着や誇りの高さを感じ取り、一生懸命に活動する姿にあこがれをもたせ、自分にもできることを実践しようとする意欲を育てる。

(学力育成の視点から)

「水質調査」や「中海クルージング」の活動を通して、初めて知ったことや驚いたことをもとに学習課題を見つけ、どのように活動すれば課題が解決できるか見通しをもち、自分の力で解決しようとする意欲を育てる。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

荒島地区活性化推進協議会の方々の情熱のある関わりに触れることで、ふるさとにある久白川や中海に関心をもつことができた。一生懸命に関わり、知っていることを教えてくださいという気持ちになれた。また、中海をより良くしていくためには何ができるかを考え、地域に貢献しようとする児童が多くなった。

(学力育成の視点から)

身近にある久白川や中海については、知っていることもあれば知らないこともたくさんある。初めて知ったことや驚いたことを出し合い、その中から学習課題を作り出すことができた。課題を解決するためには、どのような過程を踏めばよいか試行錯誤しながら見通しをもつことができた。

4 課題や今後の展望

地域、ふるさとの久白川、中海を題材に地域の方と関わりながら課題解決していく際、児童が自分の事・我が事としてより意欲的に取り組めるように学習過程を工夫すること。課題解決の際何をやるのかより具体的にイメージがもてるようにするための具体策を講じる必要がある。

